R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY28-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#A10

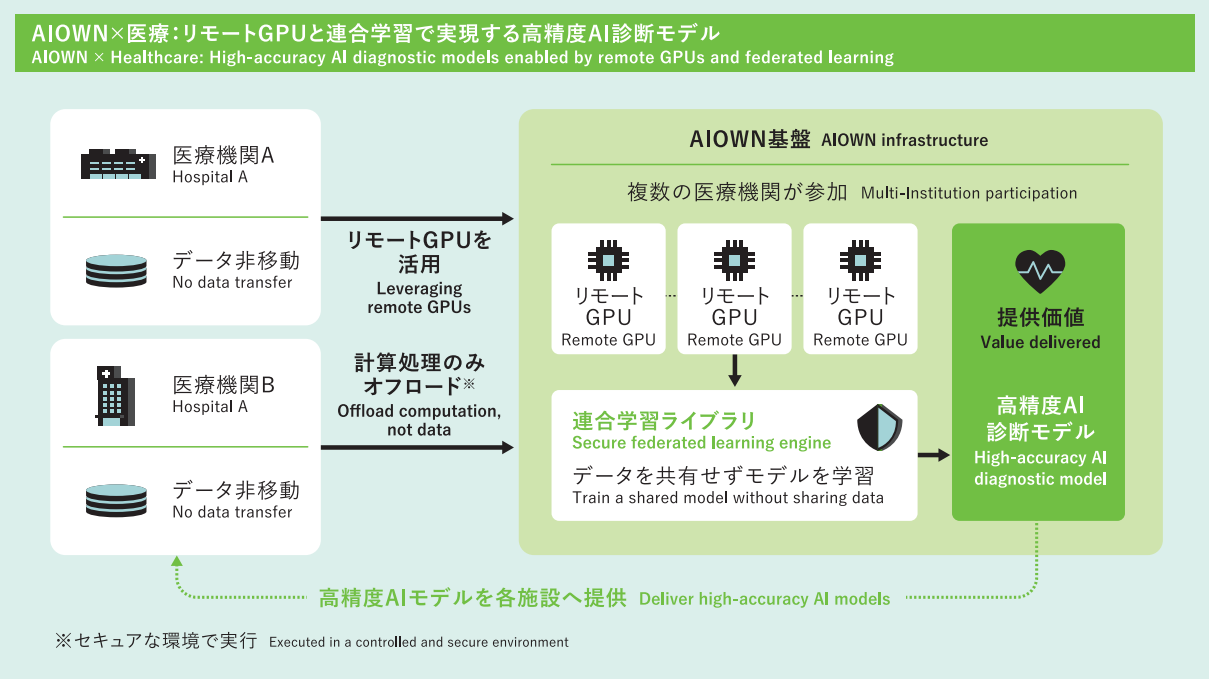
#DX・AX(デジタル変革)#AI・光量子基盤#安心・安全

AIOWN × 医療

学習処理を分割し病院にデータを置いたままリモートGPUを活用した安全なAI学習を実現します

技術課題・ゴール

AIの活用拡大に伴い、高性能GPU需要の増加と機微データの外部共有の制約が課題となっています。リモートGPUと連合学習により、データを移動することなく組織横断のAIモデル学習を実現します。これにより、医療DX・産業DXや研究開発の加速と新たな価値創出に貢献します。



技術ポイント

要素技術

・高性能GPUを保有していなくても機微データを拠点内に保持したまま遠隔GPU資源を活用した高精度AIモデル学習を実現
・AIOWN基盤を活用してリモートGPUと連合学習を統合制御し分散した計算資源を柔軟に活用

市中技術差異点

・計算処理を分割することで機微なデータを外部共することなく複数組織の知見を活用したAI学習が可能
・学習処理を分散配置し必要なGPU資源を柔軟に割り当てる高効率なAI学習を実現します

適用ビジネス/ユースケース

ヘルスケア

各病院の患者データを持ち出さずに連合学習で診断AIを高度化。AIOWNのリモートGPUにより高額なAI基盤を持たない医療機関も参加可能な高精度AI学習基盤を実現。

出展組織

NTT株式会社 テクノロジーイノベーションセンタ